

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	－	－	－
	やや良くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・暖冬のため、かなりの人出がある。バレンタインデーについては、単価の上昇は見られなかったが、まとめ買いなどにより、チョコレートの売行きが好調であった。また、春物の動きが良くなっている。
		百貨店（営業担当）	単価の動き	・生活必需品やインテリア関係の高額品などのこだわり商品がかなり動いているため、少し個人消費が回復している傾向がある。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・食品以外の催事は低迷したものの、店頭売上や外商売上に回復の兆しが見える。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・客の購入点数が増加していない。暖冬の影響で、冬物、野菜、豆腐などの売行きが良くないが、高単価の商品の売行きが好調で、売上を維持している。
		スーパー（財務担当）	来客数の動き	・12月の繁忙月と2月の閑散月の来店客数を比較すると、2月が1.6ポイント良くなっている。
		通信会社（支店長）	販売量の動き	・各社、春モデルの新機種が多く出てきて、PR活動もかなり活発に行われており、市場への刺激となっていることから、販売量は上向いている。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・暖冬のため、来客数が増加している。
	変わらない	百貨店（営業担当）	それ以外	・前年同月比で来客数は2けた増となり、売上も増加している。食品、ブランド商品群、宝飾品などが健闘したが、婦人ファッション関係及びリビング用品などの苦戦が目立った。
		スーパー（店長）	単価の動き	・客単価が上昇しておらず、必要な物しか買わない傾向が続いている。また、暖冬のため野菜の安値が続いていることも影響している。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・最近、客の購入動向が、単価の安いもの、割引している商品などに明らかにシフトしている。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・コンビニエンスストア業界が飽和状態にあることもあるが、販売量が今一つ伸びていない。暖冬の影響で、冬の商材が売れず、かといって春の商材が売れているわけでもない。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・売上は低めの横ばいで、少し落ち着いて来ている。他店の情報を聞くと、売上が悪くなり、店を閉めるような話をよく聞くようになって来ている。新店が増加しているため、売れるところは生き残り、売れないところは整理されるという流れが今後出てくる。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・2月は端境期で売上が伸びない時期であるが、今年も気温に合わせて冬物セールと春物立ち上げの両面作戦で購買を促しているが、どちらの動きも鈍く、前年同期比では3～4%のマイナスで推移している。
家電量販店（営業担当）		販売量の動き	・新入学、新社会人の需要による販売が増加しているが、前年の販売を上回る商品は全体の半分となっている。そのため、全体の販売量としては、前年まで届かない。	
乗用車販売店（従業員）		来客数の動き	・県内拠点での来客数に、ばらつきがある。中予はやや多く、東予はあまり変わらず、南予は減少気味である。来客数はそのまま販売量に影響し、販売量の傾向も同様の動きを示している。3月の決算を控え、販促に力を入れているが、全社的にはあまり変わらない。	
乗用車販売店（従業員）		販売量の動き	・昨年の来客数とあまり変わらないが、販売量では前年比で減少している。	
乗用車販売店（管理担当）		来客数の動き	・新型車の発表があったが、車を見に来る客やカタログの請求も少なく、沈滞している。	
乗用車販売店（営業担当）		販売量の動き	・半年前から前年割れが続いている。2月、3月の需要期に入り来客数は増加しているものの、成約に結び付かず、成果は前年割れとなっている。	
一般レストラン（経営者）		来客数の動き	・「前はよく来たけど、今日は私の送別会だ」という人が多くなっている。これから団塊の世代の退職者が増え、来客数がだんだんと減少するのではないかと不安である。	

		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・売上はまあまあの状況であるが、宿泊人員や来客数が増加していない。客の様子などは、少し景気が良くなってきている状況であるが、宿泊人数は前年比で減少している。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・2月は旅行にはあまり適していない時期であるため、来客数、売上ともに目立った動きはない。ただ、受験シーズンで東京への航空券、ホテルの手配は多くなっている。
		タクシー運転手	単価の動き	・営業回数が伸びず、1回の単価も良くない。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・今月は閑散期のため暇な時期ではあるが、来客数は過去最高である。
		美容室（経営者）	単価の動き	・客単価は、前年同月比で増加傾向ではあるが、暖冬の割に客足が悪く、相対的には変わらない。
		設計事務所（所長）	競争相手の様子	・ダンピングの受注や、職員を減らしている事務所が出てきている。
		その他住宅（住宅ローンセンター）	お客様の様子	・予算の少ない客が多い。
		その他住宅（住宅ローンセンター）	お客様の様子	・景気が上向いたから商品を購入しようというのではなく、どうしても必要になったから購入しようと思った、ということが客との会話からわかる。また、景気上昇による給与などの上昇の話も聞かれず、大きな変化は無い。
やや悪くなっている		一般小売店〔生花〕（経営者）	それ以外	・暖冬のため、ハウス物や草花が一気に早く咲きすぎて、価格が下落し、市場で安く売られているので、いくら売っても売上が伸びない。このまま続くと価格が安定しないので心配である。
		スーパー（予算担当）	販売量の動き	・暖冬の影響で、冬物商材（衣料のアウトター、鍋物など）の動きが悪いが、ビール・アイスクリームなど、動きが良い商材もある。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・暖冬にもかかわらず、メンズ商品などは上下とも前年比をクリアしているが、レディース商品は商品サイズが大きく変わっており、単価の下落と数量の減少が全体を押し下げている。
		その他専門店〔CD〕（店員）	お客様の様子	・商品の予約はあるが、引取り状況がだんだん悪くなってきている。全体的に、手持ちのお金が少なくなっている。
		都市型ホテル（経営者）	お客様の様子	・景気が良くなっているというものの、高知においては全くその実感がないという経営者がほとんどであり、ホテルの予約状況も勘案すると、景気は若干悪くなっている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・2月は暖冬の影響で乗る客が少なく、また、日数の関係で稼働日が少ないため、売上が若干減少している。
		設計事務所（職員）	競争相手の様子	・昨年末から年度末にかけて、同業で数社が廃業又は廃業予定となっており、業界の厳しい受注状況を反映している。総事業量も減少傾向にある。
悪くなっている		一般小売店〔酒類〕（経営者）	販売量の動き	・業務店（飲食店）への売上が落ち込んでいる。
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	単価の動き	・暖冬の影響で、取引先料飲店の来客数は前年比で確実に増加している。そのため、販売数量（リッター数）も伸びている。しかし、低単価の商品が動いているため売上金額はマイナスが続いている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・金・土にサラリーマンらが街に出なくなっている。平日1回出てくるか出てこないかという状態である。
企業動向関連	良くなっている	—	—	—
	やや良くなっている	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・製紙会社、電子部品会社の設備投資が非常に好調であり、向こう1年くらいの仕事の計画が立てられるような設備工事がある。
		輸送業（役員）	取引先の様子	・年度末や、引越シーズン（進学、就職、定期異動など）に向け、人、物の移動が活発になりつつある。また、ビル、官舎などの建て替え需要ともあいまって、移転作業もここ数年顕著に増加している。

	通信業（営業担当）	それ以外	・「個人消費の伸びがポイント」との会話が客との話の中によく出るようになってきている。客により「良くなっている」と「伸びが悪い」との両方の声を聞くが、来月からの春の商戦、消費者動向でどちらに動くかが決まる。	
	広告代理店（経営者）	取引先の様子	・新年度に向けた商材が大きく動いている。首都圏での景気上昇がようやく受注に結び付いて来ている。	
変わらない	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・販売が順調な得意先とそうでない先があり、好景気であるとは断定できない。	
	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・1月、2月の売上は日数の関係で良くないが、前年比では20%伸びており、新商品を中心に売上が伸びている。しかし、原料の高騰で収支は大変悪くなっている。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・期末調整需要が一段落し、また、新長期排ガス規制のメーカーの動きに対し、ユーザー側が買い換えに慎重になっている。	
	建設業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・赤字受注の解消が精一杯で、販管費を引いた営業利益では依然として大幅な赤字である。	
	輸送業（支店長）	競争相手の様子	・業界の会合でも全く荷動きは鈍化したままであるとの発表が異口同音に聞かれる。	
	公認会計士	取引先の様子	・客の資産表、決算書などを見ると、前年比でプラスになっている企業が非常に少ない。売上、利益共に例年とほぼ変わらないか、マイナスの企業が多くなっている。	
やや悪くなっている	木材木製品製造業（経営者）	競争相手の様子	・市場の状況は若干悪くなっている。その上、原材料が高騰しているが、売値への転嫁ができておらず、一段と厳しくなっている。	
悪くなっている	食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・1月、2月と末端での販売が非常に悪く、売上も非常に厳しい。	
雇用関連	良くなっている	—	—	
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	それ以外	・求人広告の出稿も良い状況であるが、その際に派生する会社案内パンフレット、ホームページ、研修、企業PR全般など、2次発生事業が更に好調である。
		求人情報誌製作会社（従業員）	求人数の動き	・求人数が大型店舗テナントの出店影響で非常に多くなっている。また、今後の計画も聞こえてきている。
		民間職業紹介機関（所長）	採用者数の動き	・企業側の採用意欲は高まっており、求人件数は増加傾向にある。また、採用者決定数も前年の2割増で推移している。採用については、新卒採用にどの企業も苦心している。
	変わらない	人材派遣会社（支店長）	求職者数の動き	・登録者数は上向き傾向である。その要因としては、年度末を迎え、4月以降の新たな仕事を探している人が増加していることである。
		人材派遣会社（支店長）	雇用形態の様子	・派遣登録しているスタッフに仕事を案内する際、正社員で決定しているケースが増加している。
	やや悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・夜、市内中心部の飲食店街に行く機会があるが、本当に人の出が少ない。タクシーや代行業に聞いても人が少ないと口をそろえている。家計が外食を許さない状況である。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数について、前年同月比10%を超える減少となっている。有効求人数は前年同月比でほぼ同数であるが、これらの数字をみると、景気はやや悪くなっている。
		職業安定所（職員）	採用者数の動き	・3割以上あった就職率が、2割台まで落ち込んでいる。
悪くなっている	—	—	—	